

FCAJの「ナレッジシェアビジット#9」での 「つくりたい未来を実現するための8つの鍵」を活用した取り組み（結果報告）

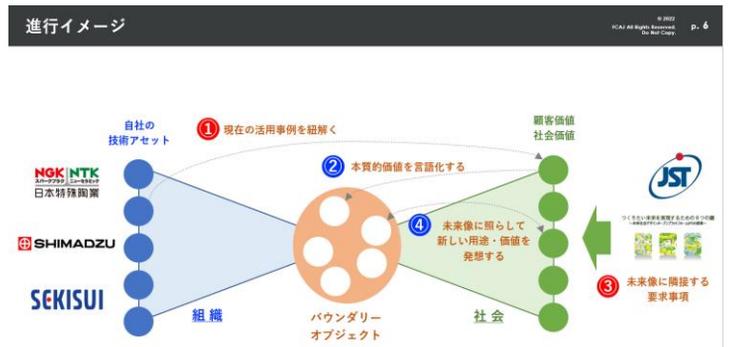
（取り組みの経緯）

- ✓ 2021年度に、「未来社会デザインオープンプラットフォーム（CHANCE）」の賛同機関で、2050年の未来像を具体化し、課題を見いだす取り組みを行いました。その結果をレポート「つくりたい未来を実現するための8つの鍵」にまとめ公開しました。 <https://www.jst.go.jp/sis/co-creation/items/8keys.pdf>
- ✓ 2022年度、いくつかの賛同機関において昨年見いだした「8つの鍵」を活用した取り組みが始まりました。
- ✓ FCAJ（一般社団法人 FutureCenterAllianceJapan）では、オープンイノベーションプログラムである「ナレッジシェアビジット#9」にて、「つくりたい未来を実現するための8つの鍵」を紹介して、「社会起点の用途発想」の議論を深めることに役立てました。

（取り組みの概要）

■ ナレッジシェアビジット#9（第9回）

メンバー相互に活動や場を紹介し、対話を通じて学び、共創のきっかけをつくる「ナレッジシェアビジット」にて、「社会起点の用途発想」と題して、BtoB企業3社の創業の歴史や、技術アセットから、本質的な価値を紐解き、技術と社会をつなぐ共通言語（バウンダリーオブジェクト）を抽出するワークショップを実施しました。



■ プログラム構成

1. テーマトーク「共感・共創へのデザインアプローチ」：FCAJマイスター小島様
2. FCAJメンバー3社から顧客価値や技術アセットの紹介
(1) 日本特殊陶業、(2) 島津製作所、(3) 積水化学工業
3. グループワークStep1「自社アセットの本質的価値を言語化する」
4. 「つくりたい未来社会の提示」
CHANCE事務局・科学技術振興機構（JST）から、「つくりたい未来を実現するための8つの鍵」を紹介
5. グループワークStep2「未来像に照らし合わせて新しい用途や価値を発想する」
6. グループ発表

■ 開催結果

ワークショップ参加者（参加団体数21、参加人数37）は、各社が保有するアセットを、機能価値や体験価値、意味的価値につなぎ、何らかのバウンダリーオブジェクトを導出することが可能であること、また、それは新しい用途開発ストーリーにつながることを実感することができました。

※詳細はこちらを参照：

<https://futurecenteralliance-japan.org/recent-activity/83hzerr6ffm6y8t43wc4cbwdy87457>